

資料：区民会議等議事録書式

| | | | | | |
|-------------------|---|-----------------------------------|---------------------------|---------------------------|--|
| 第4回 南区区民会議 議事録 | | 第4回 区民会議 平成28年11月30日 SMC16-142-01 | | | |
| | | 記録作成者 | 承認 | 作成 | |
| | | | (氏名) 石川憲次 H28/12/14 | (氏名) 生越康治 H28/12/13 | |
| 議題 | (1) アンケート結果の概要について (2) アンケートを踏まえた施策案のブラッシュアップの方向について | | | | |
| 日時 | 平成28年11月30日(水) 17時00分～19時00分 | | | | |
| 場所 | 南区役所 1F 多目的室 | | | | |
| 出席者 (敬称略) | 区民会議委員：磯 正 牛山 時恵 石川 憲次 大高 昭雄 小林 直太 坂井 陽介 新川 貞夫 新藤 賢一 田中 一正 手塚 健一 松本 勲 (委員出席11名 委員欠席9名) 南区役所：副区長 コミュニティ課長 企画係長 企画係主任 支援者：都市づくりNPO さいたま 中津原努 生越康治(記) | | | | |
| 会議項目 | 1 開会 2 議事 3 その他 4 閉会 | | | | |
| 資料 | 資料1 SMC16-141-01 南区アンケート結果と施策案ブラッシュアップの方向について 資料2 SMC16-141-02 アンケート集計結果 資料3 SMC16-141-03 アンケート自由意見の整理 資料4 SMC16-141-04 施策検討シート(アンケート結果を踏まえた改定案) 資料5 SMC16-141-05 アンケート | | | | |

今回の決定事項

- ・施策検討シートの書式とおおむねの内容
- ・今年度、今後の進め方

| 要対応事項 | 担当者 | 締切日 |
|-------------------------|--------------|-----|
| ・各施策案精査、アンケートからのコメントの整理 | 活動支援者 事務局 | |

議 事 内 容

(※以下、委員名は順不同でアルファベットで記載)

【第4回南区区民会議】

1 開会（コミュニティ課 課長より）

- 本日の出席者（委員）が11名であり、南区区民会議第5条第3項に基づき、委員が過半数に達していることから、本日の会議が成立したことを報告。
- 南区区民会議は公開が前提であるが、本日は傍聴人がいないことを報告。
- 会議録作成のため、録音及び写真撮影を行うことへの了承を委員に求め、了承された。
- 配布資料の確認
- 南区区民会議設置要綱第8条に基づき、オブザーバーとして井上副区長の出席の了解を委員に求め、了承された。
- 南区区民会議に支援者が同席することの了解を委員に求め、了承された。

2 議事（南区区民会議設置要綱第5条第2項に基づき、石川会長により進行）

議 長：それでは、議事を進めさせていただきます。本日も引き続き「地域交流の促進による安心して生き生きと暮らせるまちづくり」第4回区民会議として、（1）アンケート結果の概要について（2）アンケートを踏まえた施策案のブラッシュアップの方向についての2点について進めてまいりたいと思います。まず、アンケート結果のまとめについて、活動支援者より説明をお願いいたします。

支援者：アンケートは総数253通でした。回答者の属性として、女性が多く、年代では60歳代以上の方に最も多く回答していただきました。地域的にはほぼ南区の全域からの回答です。各施策案の評価に関して、Aの割合が最も多かったのは施策案7の『使いやすく、居心地の良い公共施設の整備』でした。A評価「有効でありぜひ進めるべき」B評価「必要なので検討していくべき」を足した評価を資料2に掲載しています。施策案7の割合が92%と多く、全ての施策で概ね80%以上の回答者が検討していくべきと評価しています。

コメントでいただいた意見や提案は①施策に対する賛同・補足②批判的な意見③新たな提案、意見④その他疑問・質問等に分け、すべてを資料3に掲載しています。

議 長：ありがとうございました。

今の説明に関して、なにか質問はありますか。各施策の協議は次の議題とさせていただきます。

委員 A：アンケート用紙を配ったら、難しくてよくわからないと言われた。もう少しわかりやすくする工夫ができたのかもしれませんが。

議 長：では続いて（2）アンケートを踏まえた施策案のブラッシュアップの方向についての協議となります。支援者に説明をお願いいたします。

支援者：これより各施策案について、アンケート結果を加味した資料4の改訂案について協議をしていただきます。各施策は多くの方が「ぜひ進めるべき」あるいは「検討していくべき」としていただいたので、このまま絞ることなく7つの施策案としてまとめる方向でよいかと思われま。しかし、記載する順番に関しては、評価の高い順にするなど工夫することができますので、その点についても協議していただければと思います。

各施策案は見開きとして、参考として右ページにアンケートの総合評価と主な意見、提案についても記載いたしました。施策のための提案のうち重要だと思われるものは、「（2）実現のために推進していくべき事業の提案」の欄等に記載しました。一方、あまり評価が高くなかったものに関しては、「その他、検討していくべき事業」として記載しました。こちらについてもご意見をいただければと思います。

それではまず、施策案1『自治会活動への参加促進キャンペーン』についてです。変更点

を中心にそれぞれ説明させていただきます。事業の提案は、評価の割合が高い順に掲載しました。「集合住宅の住民に対して、建物単位で自治会加入を促進」では、区民会議での議論にも出た「管理会社やオーナーに、加入促進の支援を要請する」がアンケートのコメントにもありましたので記載しました。以下、「マンガ版 もしも自治会がなかったら の作成」「自治会同士の交流会の開催」「自治会ホームページの普及拡大」と続きます。優先的に取り組むことに関して、「防災情報の共有を入り口にする」「子どもや若い層向けのイベントに合わせて、自治会のPRを行っていく」といったコメントを記載しました。

議長：施策案1について質問、意見等ありますでしょうか。

委員B：施策の対象者、対象エリア欄の「住人」は「住民」ではないでしょうか。

委員C：自治会活動をやられている方がアンケートに多く協力をしていただいているので、的を外れたような意見はないかと思えます。

議長：施策案1についてはこれでよろしいでしょうか。次に施策案2の説明をお願いします。

支援者：施策案2「多世代交流の場『（仮称）みなみフレンドパーク』の創設」についてです。課題と目標では、「東西に長い南区では地域間の交流を図る必要がある」などを、アンケートでいただいたコメントから記載しました。推進していくべき事業としては、最も評価が高かった「公的な空地・空き施設等を交流イベントのために日常的に活用できる場として整備」から順に記載しています。アイデアとして出ていた「地上絵コンクールの開催」はあまり評価が高くなかったため、その他検討すべき事業の提案の欄に記載しました。また、アンケートでは「学生からエネルギーやアイデアをもらって取り組む」という意見がありましたので、優先的に取り組むことの欄に記載してみました。

委員D：提案が具体的なものは評価が低くなるのはわかっていたので、これでいいと思います。

委員E：評価が高くないものは、検討していく事業のなかの「イベントなど」に含めて、これから検討していくというのはいかがでしょうか。

委員F：年に1回のイベントをやっていますが、区民まつりは競馬場以外でもやった方が交流を広げられるのだと思います。近隣の自治会同士の親睦の会はなく、やってみようという人もいません。

委員G：具体的に書くと評価が低くなり、学校に協力を求めるなどと書くとさらに低くなります。項目として「イベントなど」に一括で入れたほうが良いと思います。

議長：それではまとめる方向にしましょう。アンケートでいただいた意見のコメント欄については地上絵コンクールという言葉は残します。それでは次に、施策案3の説明をお願いします。

支援者：施策案3『高齢者の知識・経験を活かした区民セミナーの開催』に関して、評価が高かった「区内高齢者の人材バンク 南区知恵袋の設置」と次の「コミュニティセンター、公民館等でのセミナー開催」「地域の団体の要請に応じた、出前講座の実施」を推進していくべき事業に記載しました。「セミナーをコーディネートする組織の立ち上げ」はそれらを進めるうえで必要なことではありますが、評価が低かったため検討していくべき事業としてみました。セミナーに関して、「現地見学会の開催」や「災害時における共助のあり方を学ぶ」といったコメントがありましたので記載しました。

委員H：アンケートでいただいたコメントでは「シルバー人材センターで充分」というのがありますが、シルバー人材センターの機能や役割はどういったものなののでしょうか。講師の登録のような制度はあるのでしょうか。

議長：庭木の剪定などは時間と体があればという仕事だが、登録の際に技能を聞かれます。賞状を書くなど特殊技能を活かして仕事をしているケースもあります。

委員I：大谷場ではシルバー人材センターの方に声をかけて、土曜チャレンジスクールの講師をやってもらったりしています。仕事というよりはボランティアでやっている方もいると思います。

委員J：就職の窓口みたいなものなのでしょうか。

委員K：この施策案とシルバー人材センターの機能や役割とは別として提案しましょう。

議長：高齢者の居場所に関する事など、施策案7の項目と多少類似する意見もありますが、この

提案通りということでもよろしいでしょうか。それでは施策案4の説明をお願いします。

支援者：施策案4「イベントカレンダー『(仮称)コミコミみなみ』をつくる」はAとBを足した評価は78%と一番低かったのですが、多くのコメントをいただきました。その中で、「地域ごとの伝統的な祭り等の行事はあるが、区全体的には知られていない」「伝統行事の後継者育成のためにも幅広い周知が必要」といったことを課題と目標の欄に記載しました。「定期的に情報を収集、整理する組織の立ち上げ」は担い手として必要かと思いますが評価が13.8%と低かったので、その他検討していくべき事業に記載しました。また、予告だけではなく開催された事業の写真なども掲載という趣旨のコメントもありましたので、事業として追記してみました。

委員H：B評価の付け方は曖昧なので、AとBを一緒にするのはどうかと思っています。他の施策もそうですが、イベントなど、さらにお金のかかるようなものは推進してほしくはないと思います。

委員I：広報のひとつとしていいのではないかと思います。歳では身近な行事をカレンダーの中に盛り込んで配布などをしている例があります。

委員J：オリンピックは南区に直接関係はないので目標にするのはどうかと思いました。

委員K：乗り換えだったり通り過ぎたりかと思っています。あとは区民のボランティアの募集とか。

議長：提案としてはこれでよろしいでしょうか。それでは施策案5の説明をお願いします。

支援者：施策案5「シニアサポートセンター(地域包括支援センター)の周知・活用の推進」について、やはり多くの方がその役割や機能を知らなかったり、広報が必要であるという評価でした。「まちのクリニック、デイサービス施設、小学校、公民館などにポスターを貼る」という事業については、アンケートでは「対象となる高齢者にも案内を配布する」「所在地や機能などの広報資料を自治会回覧板にも繰り返し掲載する」といったコメントがありましたので、追記しました。シニアサポートセンターは人材不足だとの指摘もありますが、「子ども向けの認知症サポーター講座などを学校で行う」といった子ども向けイベント開催の提案もそのまま記載しています。

委員L：子どもに対してイベントを開催できる余力があるのでしょうか。

委員M：シニアサポートセンターの会議に出たことがあります。現場でも子ども向けの広報の必要性を感じていたのですが、なかなか時間がないという声がありました。なので、提案として出すのはいいと思います。

議長：介護の事で困ったら相談しに行きたくて欲しいですし、要介護になる前に知ってほしいという提案内容です。これでよろしいでしょうか。それでは施策案6の説明をお願いいたします。

支援者：施策案6『地域・世代間交流を通じた、子育て支援策の充実』は施策案の説明、担い手、対象者、目標については変更はありません。「子育てサークルやママ友サークルなど、同じ環境の方たちが集まる場をつくる」は評価する方が多く、コメントから「SNSやインターネットのサービスの充実をはかる」を記載しました。また、「行政主導で、世代別やテーマ別の公開講座を開催する」では気軽に相談できるような機会を設けるというコメントがありましたので、記載しました。

委員N：南区は若い世代が多く、10区のなかでも人口は多いと思います。子どもの数も多く、学校の数はどうなのでしょう。子どもの数も多いので防犯や事故なども気をつけなければならないと思います。

委員O：子育て支援は、区単位でできることと市全体ですることの仕分けなどが難しいですね。

委員P：仕事をしていると昼間の講座は行けません。日中だけではなく週末などの開催も難しいとなれば、それでインターネット活用の評価が高いのではと思います。

委員Q：南区の待機児童は多いのでしょうか。

事務局：市全体でいるのは事実ですが南区は最近5園開園されたこともあり、少なくなっています。

議長：施策案としてはこれでよろしいでしょうか。では最後に施策案7の説明をお願いします。

支援者：施策案7『使いやすく、居心地のよい公共施設の整備』は最も高い評価を得た施策案でした。施策案の説明、担い手、対象エリア、目標に変更はありません。「コミュニティセンタ

一、公民館等にいつでも使える場所を整備」では、子どもたちも利用できる場所が近くにあるとよいといったコメントを記載しました。施策案7は公共施設でのイベントに関しての協議や提案ではじまりましたが、アンケートを作成する段階で、公共施設の整備についての内容となりました。当初、事業アイデアとしてあげられていた意見をその他検討していくべき事業に記載しました。施策の評価について、前回の協議やアンケートでのコメントを整理して記載してみました。

委員 R：ハード面はすぐには難しいと思いますが、利用方法のシステムなど使いやすくするなどはできるのではないのでしょうか。

委員 S：居場所づくりをする、それをどこですのかという話から、多くの方に来て欲しいので、その場所を整備するという提案になりました。お金のかかるインフラ整備になりますが、他の施策案を進めるにしても必要になりますので両輪の話なのだと思います。

委員 T：他の施設の例ですが、食事ができるスペースがあるなど居心地のいい場所もあります。職員も接遇の研修を受けているということでした。

委員 U：優先的に取り組むことについての記載が足りないと思います。例えば施設内につくるコミュニティカフェ等の運営にPFI方式を導入するとか社会福祉法人に委託するとか、そういうことも入ってくるのではないかと思います。

支援者：検討していくべき事項のコミュニティカフェを取り上げ、その他のイベントに関しては他の施策案の項目に含めるということでもよろしいでしょうか。

委員 V：来てもらうのが先か整備するのが先かという話では、来てもらうほうが先だと思います。施設の整備は確かに必要ですが、いくら頑張っても来てもらえないケースはあります。

委員 W：予約の方法とかお金の払い方とか使える時間帯とか、そのような「使いやすさ」なのではないかと思います。

委員 X：コミュニティセンターや市民会館など同じ市内の施設でも、それぞれに別の登録が必要だったり、不便を感じました。統一するなどもう少し便利になるといいと思います。

議長：申込みや予約方法の改善など活動の自由度をあげる意見を盛り込み、施策案のタイトル通り、公共施設の整備という内容でよろしいでしょうか。それでは全体を通し、なにかご意見はありますか。

支援者：報告書には資料としてアンケートの結果、自由意見はそのまま掲載となるかと思いますが、ここで、施策案のページに記載するアンケートのコメントは精査して記載するかどうかをはかっていたらと思います。

委員 Y：同じ内容だと重複してしまうので、掲載はどちらかでいいと思います。

議長：アンケートでいただいた自由意見は施策案のページに掲載、資料は割愛するという内容でよろしいでしょうか。その方向でまとめていきたいと思っています。

3 その他

事務局：次回は平成29年1月24日(火)午後5時から南区役所多目的室での開催とさせていただきます。後日また連絡をさせていただきます。次回もどうぞよろしくお願い致します。

4 閉会

—会議項目の全てを終了—